

考えよう！荒川氾濫に備えて「わが家の避難計画」

荒川氾濫の恐れがあるとき、いつ、どこに、避難しますか？

最も推奨

遠くの高台へ避難 安全な場所に住む親戚・知人宅に避難する「縁故避難」や、民間のホテル等を利用した避難などの分散避難



早めに北区外の遠くの高台に避難するようにお願いします。

次に推奨する避難

北区内の高台にある避難場所（高台水害対応避難場所）に避難する。



刊行物登録番号：7-2-135

次に推奨

区内の高台にある「高台水害対応避難場所」に避難

震災（地震）時の避難（場）所とは異なります

荒川氾濫のおそれがある時は、区内低地部の学校や施設は避難（場）所として開設しません。平時から、大規模水害時の避難場所・避難経路の確認をしてください。

北区水害ハザードマップ解説動画

北区水害ハザードマップ動画



北区では令和4年9月に「東京都北区水害ハザードマップ」を解説する動画を作成しました。

基礎知識編では、水害に関する基本的な知識とハザードマップの見方を、

実践編では、避難行動にハザードマップをどのように活用するかを解説しています。



お問い合わせ
東京都北区 危機管理室防災・危機管理課
電話番号 03 (3908) 8184
刊行物登録番号：7-2-136

荒川 が 氾濫 すると

志茂地区の皆さまへ

最大 約1カ月、孤立する可能性があります

荒川が氾濫したとき、
浸水した地域に取り残されて“孤立”すると…



水害からも、生活環境の悪化からも、いのちを守るために

早めに「高台への避難」を

1958年狩野川台風経験者が語る

－ 高台避難の重要性 －

志茂地区では過去に何度も浸水被害を経験してきました。

狩野川台風の際、強烈な風雨に襲われ、自宅周辺では床上まで浸水する被害に遭いました。しかし、我が家は浮間・志茂に特有の地面より高く盛土した敷地（水塚（みづか））の上に建てた家だったので、かろうじて難を逃れました。

周辺被害を目の当たりにして学んだ教訓は「洪水から身を守るにはいち早く高台へ避難すること」です。

志茂二丁目町会会長 藤田 正道

写真：国鉄王子駅付近の惨状（手川文夫氏撮影）



東京都北区

東京都北区洪水ハザードマップ 志茂地区拡大版 ～荒川が氾濫した場合～

令和7年（2025年）9月

